

東京大学 大学院総合文化研究科 身体運動科学研究室

第30回身体運動科学シンポジウム

# 骨格筋・代謝からみる 身体運動科学

令和4年11月23日（水） 13:00～15:30

オンライン（Zoomウェビナー）開催

▼事前登録制（無料）▼

<http://tiny.cc/shintai2022>

（右側のQRコードでも登録できます）



新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くの人の生活習慣、特に食生活や身体活動量・運動習慣に変化が生じたと思われます。骨格筋をはじめとした身体組織の代謝機能は生活習慣による影響を受けやすく、その機能低下は数々の疾患のもととなります。その一方で、食生活の改善や運動の実施などにより、すみやかに改善されます。本シンポジウムでは、骨格筋・代謝分野の若手研究者の発表をきっかけに、現在そして未来の健康について、参加者の皆様と共に考えていければと思います。

## プログラム

総合司会：中澤 公孝（東京大学大学院総合文化研究科 身体運動科学研究室 教授／UTSSI 機構長）

### 講演

- ・ 高橋 謙也（東京大学大学院総合文化研究科 身体運動科学研究室 助教）  
「性腺機能低下症モデルから考えるエネルギー代謝の性差」
- ・ 門口 智泰（東京大学大学院総合文化研究科 身体運動科学研究室 助教）  
「活性酸素種や脂肪酸代謝産物はサルコペニアに関連するか？」
- ・ 松永 裕（東京大学大学院総合文化研究科 身体運動科学研究室 助教）  
「トレーニング休止に伴う骨格筋ミトコンドリアの変化と分岐鎖アミノ酸摂取の影響」
- ・ 高橋 祐美子（東京大学大学院総合文化研究科 身体運動科学研究室 准教授）  
「糖質の摂取習慣が骨格筋を中心としたエネルギー代謝に与える影響」

### 総合討論

進行役：八田 秀雄（東京大学大学院総合文化研究科 身体運動科学研究室 教授）

共催：東京大学 スポーツ先端科学連携研究機構（UTSSI）